

春

SHINWA NEWS

2022.4.4

伸和商事株式会社


 卷頭言【萌ゆる春】


桜花匂う頃、皆様如何お過ごしでしょうか？

ようやく暖かくなり始め、過ごしやすい気候になってきたかと思えます。今年にはwithコロナ、景気全体の回復を年初には願っておりましたが、ロシア軍とウクライナ軍の戦闘激化により景気回復には急ブレーキがかかる状況となっております。コロナ感染、資源価格の乱高下、インフレ懸念、この辺が今年の重要ワードになってきそうですね。

とは言え、私どもは投資家でも投機家でもないの、材料の上げ下げに踊らされることなく、流通問屋としてあるべき姿を守っていきたいと思っております。来年は皆で楽しくお花見が出来る世の中になっていきますように…

・お題のような言葉を耳にして、耳慣れない言葉だと思ひ、すぐにスマホで調べました。「災禍と幸福とは糾つたより合わせた縄のように表裏一体で、それらは交互に訪れるというもの」。その意味は何となく想像していましたが、改めて正しい意味や用法を知りました。調べるのに要した時間は約1分です。
 ・そこで改めて凄と思ったのは、スマホでの欲しい情報を入手出来る『早さ』、『多さ』、『便利さ』です。昔ながら辞書を買ひ(または図書館や本屋に行く)調べていた事に、インターネットなら瞬時に検索出来ます。更には類義語検索や多言語翻訳まで出来てしまいます。インターネットの圧倒的な強みを感じました。
 ・仕事においても、欲しい材料や製品があったら入手方法を調べるのにネット(ホームページや物づくりデータベース、ネットショップなど)を使って探す人も増えてきたと感じます。もちろん対面での人と人との繋がりを大事にする商売も大切ですが、しかしより多くのお客様に弊社の事を深く知ってもらうには、常に情報発信する事も大切だと改めて感じました。



禍福は糾える縄の如し

・台東区の幼児向け交通安全キャンペーン協賛企業となりました。これを機に、改めて交通事故の怖さを認識して、子供たちの見本となるような交通ルールの徹底を心掛けていきたいと思ひます。なお、交通事故の約7割が安全運転義務違反(わき見運転や安全不確認など)なのだそう。油断一瞬、事故一生涯だと肝に銘じて、これからも注意して運転したいと思ひます。



交通安全キャンペーン協賛企業



編集後記

・編集担当者は慌ただしくも入社から1年が過ぎ、そして2年目を迎えました。最初の頃と今では業界の見え方が多少変わってきたと感じております。
 ・世の中はコロナも含め、大変な時期を迎えておりますが、これからも弊社ニューズレターにお付き合ひの程、お願い申し上げます。
 ・次回発刊は7月頃を予定しております。